

第6733回



【主催】 QCサークル関東支部 茨城地区
【後援】 茨城県 / (一財)日本科学技術連盟QCサークル本部
(一社)茨城県経営者協会

出場企業

※順不同・敬称略

企業名	部門
株式会社三五関東	SGH
株式会社小松製作所 茨城工場	SGH
株式会社日立ビルシステム 生産本部	SGH
Astemo株式会社 佐和工場	SGH
日野自動車株式会社 古河工場	SGH
株式会社日立製作所 大みか事業所	SGH
ネグロス電工株式会社 筑波工場	SGH
株式会社日立ハイテク 那珂地区	JHS
日立建機株式会社	JHS

SGH…製造・技術・品証 / JHS…事務・販売・サービス・医療

2026年

7月28日(火) 9:15 ~ 16:35

水戸市民会館 ユードムホール (中ホール)

大会概要

会場で聴講しよう！

「水戸市民会館」でサークルの皆さんの熱のこもったプレゼンテーションをお届けいたします。QCサークルの重要性に関する特別講演も併せてお楽しみいただけます。

活動のレベルアップに！

他社の活動を参考に「もっと活動レベルを上げたい」「活動の成果を高めたい」などの活動のお悩みを解決するヒントをお届けいたします。

参加対象はどなたでも！

サークルリーダー・メンバーの方々だけではなく、経営者・管理者・スタッフ・推進事務局の方々など、たくさんのご参加をお待ちしております。

会 員

お一人様

5,500円税込

非会員

お一人様

6,000円税込

募集定員：250名

※参加費には、弁当・要旨集1冊が含まれます

【申込期限】7月3日(金)

◆申込方法

第6733回 夏季大会 聴講申し込みフォーム

必要事項を入力の上、大会事務局までお申込みください。

◆お申し込み・お問い合わせ

【大会事務局】 株式会社日立ビルシステム 秋山

TEL：090-8379-5741

E-mail：kasumi.akiyama.zw@hitachi.com

QCサークル関東支部 茨城地区ホームページ <https://qc-members.jp/kanto/ibaraki>



第6733回



大会プログラム



時間	会社名/サークル名	テーマ名	部門
9:15～9:30	開場・受付		
9:30～9:45	開会挨拶・発表要領説明		
9:45～10:10	発表No.1 株式会社日立ビルシステム 生産本部 PATRICKグループ	やらないなんてもったいない！ダイレクト納入で効率向上	SGH
10:10～10:35	発表No.2 Astemo株式会社 佐和工場 黄金SOUL PLUS ONEサークル	ユニット組立工程における仕損費の低減	SGH
10:35～11:00	発表No.3 株式会社日立ハイテク 那珂地区 マニュアル工房サークル	マニュアル作成による働き方改革	JHS
11:00～11:15	休憩		
11:15～11:40	発表No.4 株式会社小松製作所 茨城工場 Advanceサークル	WA600ブームシリンダ調整作業の改善 ～ヒト・環境に優しい作業工程を目指して～	SGH
11:40～12:05	発表No.5 株式会社日立製作所 大みか事業所 コーティングマンサークル	塗装職場におけるカーボンニュートラルの実現 ～エコ改善で築くWell-beingな職場づくり～	SGH
12:05～12:55	昼食		
12:55～13:20	発表No.6 ネグロス電工株式会社 筑波工場 TEAM Bサークル	DK1-9組立の生産時間安定化	SGH
13:20～13:45	発表No.7 日立建機株式会社 オンパトロールグループ	従業員の通用門周辺における交通事故リスクを低減しよう	JHS
13:45～14:00	休憩		
14:00～14:25	発表No.8 株式会社三五関東 SK工務店サークル	次世代生産対応 バレット刷新計画 －生産性・環境・スペースを追求した改善活動－	SGH
14:25～14:50	発表No.9 日野自動車株式会社 古河工場 うわいしきサークル	コンプレッサー純水カートリッジ交換におけるリスクレベル低減	SGH
14:50～15:05	茨城県議会議長賞の投票・休憩		
15:05～16:05	「今こそみんなで考えよう！これからのQCサークルの力」 【講師】石津昌平氏 青山学院大学 名誉教授		
16:05～16:30	審査結果発表・表彰式		
16:30～16:35	閉会挨拶		

★発表1件25分（発表15分、質疑3分、講評5分、準備2分）

★SGH：製造・技術・品証 JHS：事務・販売・サービス(含む医療・福祉)

※プログラムは変更になる場合があります。ご承知おきください。

会場アクセス [※詳しくはここをクリック](#)



【ＪＲ水戸駅から】

■路線バス・・・北口（４～７番のりば）から約５分の「泉町一丁目」下車、徒歩１分



■徒歩・・・水戸駅北口から約２０分

【車で来場の場合】

■近隣・周辺の駐車場をご利用下さい。近隣の駐車場は有料です。

- ・五軒町立体駐車場（水戸芸術館東側）283台
- ・五軒町地下駐車場（水戸芸術館地下）217台
- ・周辺の有料駐車場（500m圏内に約4,500台）



／ここがいいね！／

聴講のポイント



時間	会社名/サークル名	テーマ名	部門
発表No.1	株式会社日立ビルシステム 生産本部 PATRICKグループ	やらないなんてもったいない！ダイレクト納入で効率向上	SGH
9:45 ～ 10:10	👍 エスカレーターの制御BOXは、オプション仕様によって多種多様の組合せがあり、取り扱っている部品の品種数も多く、部品倉庫から搬出された部品を各ラインに供給するために、再び別の専用台車に仕分ける作業が発生していた。今回の改善活動では、仕分け作業を廃止して部品倉庫から部品をダイレクト納入できないかグループ内で討議し、部品台車をコンパクト且つ明瞭化することで部品の仕分け作業時間を削減した事例である。		
発表No.2	Astemo株式会社 佐和工場 黄金SOUL PLUS ONEサークル	ユニット組立工程における仕損費の低減	SGH
10:10 ～ 10:35	👍 新米リーダー小林が【最後まで粘り強く諦めない】を合言葉に、『雑草魂』で改善活動に挑戦し仲間と共に成長していく姿。苦戦を強いられてきた長年のテーマであるネジ締め不良に対し、データで事実を捉え、3現で粘り強く観察したことでついに真犯人を捕まえることに成功！壁を乗り越え目標を達成出来た。グループ会合を地道に積み重ね、上司や関係部署と協力したことでプラスワンの改善も実現できた活動報告となっております。		
発表No.3	株式会社日立ハイテク 那珂地区 マニュアル工房サークル	マニュアル作成による働き方改革	JHS
10:35 ～ 11:00	👍 働き方改革を目的に、部内グループ横断の混合チームでマニュアル作成に挑戦。本活動のポイントは、単なる成果物の作成ではなく、「マニュアルを作るためのノウハウ」を確立した点です。既存マニュアルから134件の気づきを体系化し、再現性・検索性・網羅性を高めるマニュアル作成ノウハウを確立、さらに実践として11件の新規マニュアルを作成しました。工数削減や心理的負担軽減、人財育成を実現したプロセスを紹介します。		
発表No.4	株式会社小松製作所 茨城工場 Advanceサークル	WA600ブームシリンダ調整作業の改善 ～ヒト・環境に優しい作業工程を目指して～	SGH
11:15 ～ 11:40	👍 データが取りづらい組立部門の問題点を可能な限り数値で見える样にするためQCツールなどを活用して安全・品質・環境の現状をデータ化した。品質面では外部講師FMEA勉強会を受講したリーダーが中心となりサークル勉強会を行い、品質リスクをFMEAで洗い出しRPN評価で改善対象を明確化。重筋作業で人のカンコツに頼っていたいじわるなブームシリンダ調整作業を専用治具の考案・導入し、誰でも作業できるヒト・環境に優しい工程に改善した事例です。		
発表No.5	株式会社日立製作所 大みか事業所 コーティングマンサークル	塗装職場におけるカーボンニュートラルの実現 ～エコ改善で楽しくWell-beingな職場づくり～	SGH
11:40 ～ 12:05	👍 エコ改善を通じてカーボンニュートラルの実現に挑みました。治具開発と梱包作業の改善に加え、設備への遮熱シート貼付により放射熱を低減し、資源使用量とエネルギー消費の削減を推進。環境負荷の低減とCO ₂ 排出削減を実現するとともに、作業効率の向上や安全性の向上、品質の安定化にもつなげた現場主体の改善事例をご報告いたします。		
発表No.6	ネグロス電工株式会社 筑波工場 TEAM Bサークル	DK1-9組立の生産時間安定化	SGH
12:55 ～ 13:20	👍 見えないところで、魅せてます。ネグロス電工の製品「DK1-9」をご存知でしょうか？当該製品は、誘導灯や防犯カメラの取り付けにとっても便利な弊社の売れ筋商品です。しかし、その組立工程は生産時間に大きなバラつきがありました。生産時間を安定させる為に、独自の反転治具開発など、現場の知恵を集結させ、設備の潜在能力を引き出した「課題達成型」QCストーリーです。TEAM Bの活動をお見逃しなく！		
発表No.7	日立建機株式会社 オンパトロールグループ	従業員の通用門周辺における交通事故リスクを低減しよう	JHS
13:20 ～ 13:45	👍 私たちは毎日朝の立哨を行い、引継ぎ時間を利用して通勤状況に関する危険性を調査しました。その結果、通勤時に危険を感じる場所は通用門であり、交通事故の危険性を感じると回答したグループ員は7割を超えていました。リスクアセスメントを用いて数値化し、高リスク箇所の交通ルールを見直し、従業員に周知したことで安全な通勤を実現しました。全員参加の改善活動で新人警備員の成長にもつながり達成感ある活動になっています。		
発表No.8	株式会社三五関東 SK工務店サークル	次世代生産対応 パレット刷新計画 － 生産性・環境・スペースを追求した改善活動 －	SGH
14:00 ～ 14:25	👍 三五グループの中でも商用車向け排気浄化装置をメイン製品としている唯一の工場です。乗用車と比べ少量・多品種が特徴でもあり、様々な形状があるため、製品ごとに専用の容器を構えています。そんな中、新しい製品が立上るために新規パレットを準備する必要がある。新しいメンバーも加わり、今までの経験にとらわれることない意見からどういった結果になったのか！？メンバー全員が苦勞し、達成感を感じることができた事例となります。		
発表No.9	日野自動車株式会社 古河工場 うわいしきサークル	コンプレッサー純水カートリッジ交換におけるリスクレベル低減	SGH
14:25 ～ 14:50	👍 現状「仕方ない」と思っていたやりにくい作業について、皆で試行錯誤しながら対策を考え、根本的なやり方を変えた改善のアイデアをご紹介します。また、既製品をそのまま受け取るのではなく、「その状態は正解なのか？」という視点も一考して頂ければと思います。		





特 別 講 演

15 : 05 ~ 16 : 05



今こそみんなで考えよう！ これからのQCサークルの力

講 師



青山学院大学 名誉教授

石津 昌平 氏

経 歴

1985年 広島大学工学部システム工学専攻
博士課程修了 博士(工学) 学位取得
1985年 広島大学計数管理工学 助手
1988年 東京工業大学社会工学科 助手
1989年 愛媛大学経済学科 助教授
1991年 青山学院大学経営システム工学科 助教授,教授
2024年 - 現在 青山学院大学 名誉教授

講 演 概 要

少子化や働き方の多様化、AIの進展などによる急速な社会変化の中で、職場にはこれまで以上に主体的な問題解決力とチームの力が求められています。環境が大きく変わる今、現場で働く一人ひとりの力をいかに引き出すかが重要なテーマとなっています。

QCサークル活動は、品質の向上だけでなく、人材育成や職場の活性化を実現する基盤として長年実践されてきました。本講演では、管理者・推進者だけでなく現場メンバーも含めてQCサークル活動の意義を改めて捉え直し、職場の仲間と力を合わせて成果を生み出していくための考え方について講演いたします。特に、環境変化における事実を受け止める勇気とサークル内外の人たちと共創することによる喜びや楽しさ、達成感についてお話ししたいと思います。

